作成日：2025 年 5 月 22 日（第 3 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学眼科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の多機関共同研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023 年　3 月

福島県立医科大学医学部眼科学講座　加藤寛

■ 研究課題名

眼底自発蛍光で Trickling パターンを呈する黄斑・網膜変性に関する多施設データ解析

■ 研究期間

2023 年 3 月～2027 年 3 月

■ 研究の目的・意義

Trickling パターンとは眼底自発蛍光検査にて滴状に広がる特徴的な所見であり、萎縮型加齢黄斑変性の一部で認められます。Trickling パターンを示す萎縮型加齢黄斑変性は、比較的予後不良とされ、他のパターンを示すタイプと遺伝子なども異なる可能性が示唆されています。また、他の黄斑・網膜変性疾患においても同様の trickling パターンが見られることが知られております。以上のことから、trickling パターンを示す疾患には、複数の病態が含まれている可能性がある一方で、共通の病態を持つ可能性も考えられます。本研究では、trickling パターンを示す黄斑・網膜変性の方を多数集積し、網膜変性の観点から網膜電図の所見を中心に解析し、その病像と病態を明らかにすることを目的とします。

■ 研究対象となる方

2010 年 4 月から 2026 年 10 月までに福島県立医科大学附属病院眼科および共同研究機関を受診し、trickling パターンを示す黄斑・網膜変性を有すると診断された患者さんを対象とします。

■ 研究の方法

研究機関及び共同研究機関にて、診療録（カルテ）から下記の患者背景と画像所見のデータを調べます。統計学的に視力変化に関係するリスク因子の検討も行います。

・患者背景：年齢、性別、既往歴、視力、眼圧

・画像所見：周辺部網膜所見、全視野網膜電図の数量的解析、病変サイズ、病変部位、
中心窩網膜厚/脈絡膜厚、黄斑部網膜構造、後部硝子体剥離の有無、
周辺部白点状病変、視野検査所見

■ 研究組織

この研究は萎縮型加齢黄斑変性研究グループを中心とした多機関共同研究です。全ての共同研究機関とその研究責任者の氏名は次のとおりです。
集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　竹之下誠一であり、それらの情報は共同研究機関で共同利用し解析を行います。

＜研究代表者＞
福島県立医科大学　眼科　学内講師　加藤寛
＜研究実施責任者＞
福島県立医科大学　眼科　学内講師　加藤寛
＜各機関の研究責任者＞
東京医療センター臨床研究センター視覚研究部　部長　角田和繁
三重大学医学部附属病院　眼科　教授　近藤峰生

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料･情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒969-1295　　福島県福島市光が丘 1 番地
公立大学法人福島県立医科大学医学部眼科学講座　担当　加藤寛
電話：024-547-1303　　FAX：024-548-2640
E-mail：fugu1212@fmu.ac.jp